

環保協の社会貢献活動のご紹介 ～私たちは健康づくりと住みよい環境づくりに取り組めます～

当協会は社会貢献活動として、献血、地域清掃活動、環境学習などを、毎年行っています。

献血は、広島県赤十字血液センターに協力を依頼し、当協会を献血会場として、血液が不足する夏季と冬季に、協会職員のほか近隣の事業所などにも呼びかけて400ml献血を実施しています。

天満川左岸美化活動は、当協会周辺の河川敷と歩道の散乱ごみを回収する活動で、毎週1回定期的に実施しています。また、年に1回は「環保協前天満川クリーン作戦」として、河川内外の清掃も行っています。河川敷のごみの回収に加えて、天満川に入ってごみの回収をする作業を行い、毎年軽トラック3台分程度のごみを回収していま

す。

環境学習では、「かんほきょう天満川自然観察会」を開催しています。今年度は、1月31日

に冬鳥の観察を行いました。街中にもかかわらず18種類の野鳥を観察でき、参加した地域の皆さんに楽しんで頂きました。

当協会ではこれからも社会貢献活動を継続し、地域の皆さまとともに健康づくりと住みよい環境づくりに取り組んでいきます。



双眼鏡を使い天満川の野鳥を観察



熱心に講演を聴く参加者

HACCPを普及させるための国と広島県行政の取り組みについて、わかりやす

いたいただきました。HACCPを普及させるための国と広島県行政の取り組みについて、わかりやす

食の安全・安心をテーマに毎年実施している食のセミナーを2月4日に開催しました。当日は、食品事業者、行政関係者など105人が参加しました。今年度は、厚生労働省中国四国厚生局食品衛生課の田中課長に「厚生労働省にお

けるHACCP推進の取り組みについて」と題し、日本や海外におけるHACCP導入状況や、さらなるHACCP普及をめざした最近の動向について講演いただきました。

食の安全と安心のために

平成26年度食のセミナー開催

く説明され、当協会の今後の業務に活かしていきたいと思えます。

また、三栄源エフ・エフ・アイ株式会社食品保存技術研究室の小磯室長からは、「食品添加物の有効活用について」微生物制御に用いられる保存料・日持向上剤について題し、保存料と日持向上剤の役割や違い、相乗効果について講演いただきました。

参加者からは、「国や県の取り組みがよくわかった」「今後の仕事に役立てたい」などの意見がありました。

当協会は、これからも食の安全と安心のための情報を発信してまいります。

(食品検査課)

エコINNくろせは、平成18年に設立して以来、小学校の出前講座に取り組んでいる。

この度、広島県立黒瀬高等学校から初めて依頼があり、1月30日、世代間交流も兼ねた環境学習会を開催した。当日は、福祉科の生徒23人

を対象に、座学と体験の2部構成で実施し、前半は、3つのテーマで学習した。1つ目は、「地球温暖化の最新情報 未来の地球と私たちの暮らし」と題し、IPCCリポート「ミューンター

の活動紹介」と題し、DVDを上映しながら活動を紹介するとともに、小原義昭さんが、地産地消、フードマイ

「細く切つて茹でる」という、一連の流れを体験した。初めて体験した生徒が多く、苦戦しつつも喜楽会メンバーの手助けを得ながら真剣に取り組む。昔の知恵や食べることへの感謝の気持ちを改めて実感したようだ。

同協議会の西濱代表は、「これからも交流を兼ねた学習に取り組む、自分たちができる身近な脱温暖化活動を推進しながら仲間を増やし、町内全域へ活動を広めたい」と意気込みを語った。

（脱温暖化センターひろしま）



身近なことから脱温暖化

町内全域での活動をめざす

庭の省エネとCO2削減」と題し、高鷹生男さんが、家庭からのCO2排出状況や主要家電の省エネ性能、体験談を交えた家電の賢い使い方などを説明。そして3つ目は、「エコINNくろせの活動紹介」と題し、DVDを上映しながら活動を紹介するとともに、小原義昭さんが、地産地消、フードマイ

その後、調理室へ移動し、表皮も一緒に粉にした黒瀬産小麦を使ってうどんづくりに挑戦した。一緒に活動する「喜楽会」のメンバーも加わり、指導にあたった。生徒たちは、「こねた生地を足で踏む」「麺棒で約2mmの厚さに延ばす」「細く切つて茹でる」と

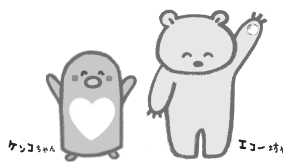
公衛協ブロック会議

平成27年度の事業について提案する『公衛協ブロック会議』を、次のとおり開催します。申込みや詳細については、各市町公衛協事務局へお問い合わせください。

◆日時・会場 全会場とも10:00～15:00

- 西部・呉ブロック 3月18日(水) 広島県公衆衛生会館(広島市)
- 福山・尾三ブロック 3月19日(木) 環境保健協会東部支所(福山市)
- 北部ブロック 3月20日(金) 広島北部地域職業訓練センター(三次市)

平成26年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成26年度で55回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)
57,334,979



Q. 事務費に配分された募金は、どのように使われているの？

A. 次のようなことに使われています。

- 募金事業のPR用チラシやポスター、募金袋の作成費
- 振り込み手数料

※事務費：募金事業を円滑に進めるための経費

★募金事業のPR用グッズの例



A3チラシ



募金袋(小・大)



ポスター

市町名	募金額(円)	達成率(%)
安芸太田町	741,550	443.1
北広島町	1,098,600	262.6
安芸高田市	2,151,300	326.6
東広島市	4,312,516	109.9
三原市	1,731,105	79.1
世羅町	909,060	263.7
尾道市	4,292,000	132.8
福山市	8,851,885	89.4
府中市	1,119,802	127.7
神石高原町	345,292	166.2
三次市	2,201,982	185.1
庄原市	2,425,930	303.6
その他	76,349	—
合計	57,334,979	156.4

市町別一覧表(平成27年1月末現在)

※この表は、平成27年1月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。